

高3の生徒さんから調理実習で作った チキンライスを頂きました。



6月23日の午後、校長室をノックする音が聞こえたので、扉をあけると4人の高校3年生が素敵な笑顔で「家庭科の調理実習で作りましたので、食べて下さい！！」とチキンライスを持ってきてくれました。特製で上にチーズがのせてありました。

この日は、昼食を早くとっていたので食べられるかなと思ったのですが、とてもおいしくペロリと平らげてしまいました。

ウィキペディアによると、チキンライスは日本発祥の洋食の一つで、大正時代にはチッケンライスと呼ばれ、ケチャップを使用していないため、赤くはなかったそうです。ケチャップ味になるのは、大正末期から昭和に入ってからとされています。チッケンライスは、主にキリスト教会で開かれる「クリスマス会」で、貧しい家庭の子供や孤児におむすびにして振る舞われたそうです。

私にとってチキンライスは、子どもの時の憧れでした。デパートの食堂で食べることが出来た「お子様ランチ」の象徴で、チキンライスの上に国旗が飾られ、エビフライ、ポテトサラダ、デザートもそえられていて、とてもまぶしく見えました。兄弟が多く貧しかったので、親に「お子様ランチ」を食べたいとは、とても言えなかった思い出があります。

2020年6月30日(火)